

姉妹・友好都市

SISTER CITIES NEWS

ニュース

協会報

第 28 号

平成9年5月10日発行

編集・発行

茨木市国際親善都市協会



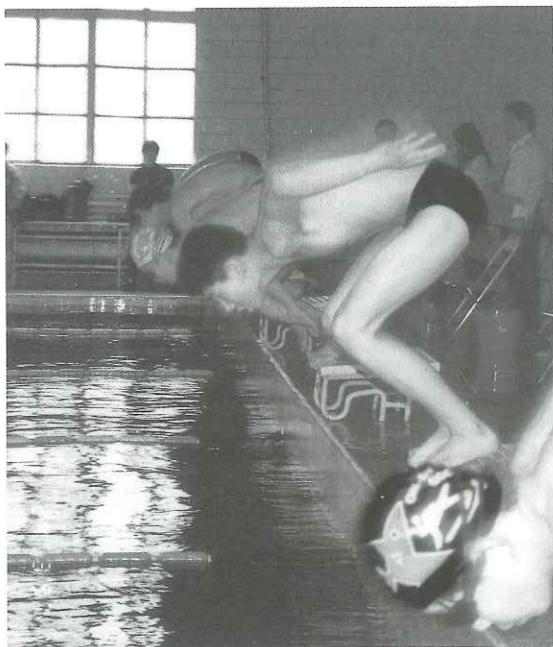
茨木市スポーツ親善訪中団

目次

- 茨木市スポーツ親善訪中団安慶市で貴重な体験 P.2・3
- 高度成長の中国実感の旅、活動室紹介 P.4・5
- 1996 国際交流の集い、ふれあい交流を実施 P.6
- 英語スピーチ大会報告、'97俳句コンテスト P.7
- 内海町への市民訪問団、国際交流の足あと P.8

平成9年(1997年)3月23日~29日

茨木市スポーツ親善訪中団安慶市



菱湖公園で



振風塔の下で



団長とコーチの先生方

今回、スポーツ親善訪中団の随行職員として、友好都市・安慶市をはじめ合肥、上海と中国各都市を7日間の日程で訪問してきました。

安慶市子ども達との卓球・水泳のスポーツ試合を通しての交流が訪問の目的で、子ども達はもちろん私自身も意義深く貴重な体験ができました。

訪問した安慶市はもとより、中国の各都市は、道路や工場、ホテルといった高層ビルの建設ラッシュで、古い建物の取り壊しなど工事現場がいたるところで見られ、自転車と人の多さには目を見張りました。また、都市部を離れると延々と菜の花畑が続き、所々農家があるといった広大な土地を目のあたりにして、中国の広さ、スケールの大きさに感心しました。

さて、親善試合は、地元小学生による鼓笛隊の「熱烈歓迎」のもと、安慶市石化肥倶楽部で開会式が行われたのに続き、水泳チームの応援の中、卓球の男女混合ダブルスから試合が始まりました。

最初、会場の雰囲気のにまされたのか、茨木チームの本来の力が発揮できていないようでしたが、2日目は、安慶市の卓球コーチによる指導の成果や雰囲気に慣れたのか、女子団体戦での優勝など好プレーが出て善戦できるようになりました。

一方、水泳チームは、各日とも午後から卓球チームと分かれ、安慶市遊泳館で各種目の試合が行われました。試合は、頭ひとつ、タッチの差で勝つなど、大きな声援の中、安慶市チームと熱戦を繰り広げました。

で貴重な体験!!



歓送会で中国選手と



ホテルのロビーで

この2日間のスポーツ交流試合の後、両チームの選手が参加し閉会式が行われ、成績発表、表彰式、歓送会が行われました。各テーブルで、両チームの子ども達の笑い声や筆談、フラッシュの嵐など楽しい光景を見て、訪問目的である安慶市との親善交流の一端が果たせたのではと安堵いたしました。

最後に合肥での博物館、南京の戦争記念館、上海テレビ塔等の名所を見学することにより、子ども達も中国の歴史と現代の姿を肌で感じ取ることができ、貴重な体験をしてくれたと思えました。

この体験を通し、子ども達が将来、ますます安慶市との友好発展の担い手となってくれるよう期待したいと思います。(随行職員 山村 実)

メチャメチャ楽しかった中国

西中学校 卓球選手 河村 拓也

ぼくは中国行きが決まってメチャメチャ嬉しかったです。出発の当日までは実感がなく、飛行機は初めてで緊張しました。

そして中国！ホテルは予想に反して、きれいで幸せでした。食事は最初油っこくて合いませんでしたが、帰る日に近づくときだんだんおいしくなってきました。

試合では一番最初に僕があたりました。でも敗退。まだまだ未熟だなあと悔しかったけど、楽しい試合で満足でした。安慶市の人達とも友達になって写真を撮り合っていて楽しかったです。試合のほかに市内見学や買い物をし、7日間とても有意義で、とてもいい勉強になったと思います。もし機会があれば、また行きたいなあとと思います。

もう一度行きたい中国

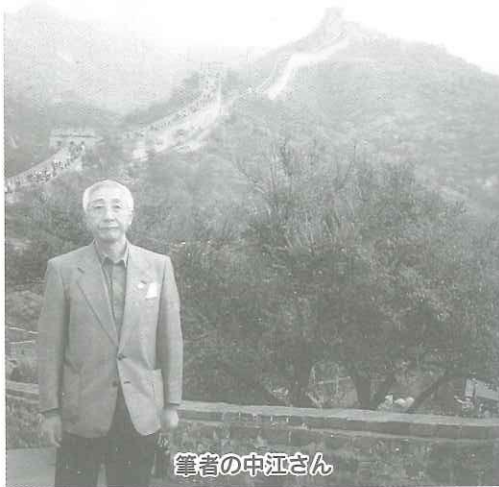
東中学校 水泳選手 岡 美甫

訪中国に参加して、試合では良い成績をだせなかったけど、心の視野は大きく広がったと思います。この機会がなければ私は一生中国の良さを分からず訪れることもなかったと思います。

夜、上海で、小学校低学年ぐらいの子どもがお金を欲しそうに私達のところによって来た時は複雑な思いがし、日本と中国との生活の違いを改めて感じました。

中国は何年後になるか分かりませんが、今度は自分で稼いだお金でいきたい国の1つになりました。その時はゆっくり自分の足で町を歩き、もっと人々の生活に触れたいと思います。そのためにも、中華料理をもっとおいしく食べられるようにしたいし、中国語を学びたいです。

友好都市・安慶市を訪問



筆者の中江さん



安慶市表敬訪問



黄梅劇学校の生徒による演技



歓送会

高 慶 成 長 の

平成8年10月16日から22日まで1週間、市民レベルでの親善訪中国に自発的に応募し友好都市締結11年の歴史がある安慶市へ行って来ました。

たった時差1時間の中国へは、ひと飛びといった感じで、活力に溢れた中国を実感した旅でありました。

市政府は熱烈歓迎して下さい、12名の訪問団員はそれぞれの胸に多くの思い出を刻んだと思います。

10月16日の昼、上海に到着し、午後4時の安慶行まで上海市内を一巡しました。もう、いたるところ道路工事や建設工事でごった返し、ちょうど我が国が昭和39年のオリンピックの開催をめざして名神高速、東海道新幹線をはじめ近代化に向けての高揚期のあの頃を思い出し、懐かしくもうらやましくも感じました。

安慶市には午後5時30分に到着。空港には市の幹部が出迎えて下さいましたが、訪問10回以上という団長の清野氏が「ヤー、ヤー」と旧知の人達と懐かしそうに握手をされていたのが印象的でした。

17・18の両日は安慶市表敬訪問、安慶・茨木友好天象館、小学校、紡績工場、経済技術開発区、黄梅劇学校の見学、歓送会と充実した日程でそれぞれに一般の観光旅行とちがう思い出深い2日間でした。

第4日目は安慶市から車で約4時間かけて合肥市へ。そこで1泊して翌日に北京市に入りました。北京市では故宮、天安門広場、万里の長城などを見学。「さすが大中国」を実感しました。

今回の訪中の感想を率直に申しますと……

1. 行く先々で開発、開発と古いものや、田畑がつぶされていました。いずれ環境破壊から公害問題がでてくるでしょう。日本がたどった道を追っている感じで、酸性雨等が心配です。
2. 昔の中国は、ガツガツしなくても暮らして行けたのか、万事おうようで大陸的風土でした。今

中国実感の旅

北春日丘 中江 達雄

回見た中国は、改革開放政策で民衆が一生懸命働いており、しかも世界人口の4人に1人は中国人といわれています。その領土の広さ・資源力・人材はやがて世界を巻き込んでいくでしょう。これからも中国とは仲良くしていけないといけないなと思いました。

3. 中国の人は顔・文化とも日本人の先祖で見分けがつかえません。あと言葉が通じれば一番近い存在ではないでしょうか。私もこの機会に時間をつくり中国語を勉強しなければと実感しています。
4. 中国との交流はまだ行政間交流になっています。市民相互の交流になって、初めて本当の交流になると思います。私たちが中国を訪問するように中国からもどんどん市民の中から来て欲しいものです。物価の違いが大きい今は、ある程度安慶市からも補助をして人の交流を大切にして下さるのが将来のためになると思います。



紡績工場の見学



経済開発区の見学



天安門広場で



世界のゲーム大会

We Are Friends
青少年活動室

“We Are Friends”は毎月原則的に第3日曜日の午後2時～4時、アメリカ人の講師の先生とゲームや季節のお祭りを楽しみながら、生の英語に触れられるところです。

ディズニー映画鑑賞や世界のゲーム大会、ハロウィーンなど楽しい企画を用意していますので、ぜひ一度遊びに来て下さい。

姉妹都市活動室では、世界各国のゲストによる英語のスピーチや交流会などを通して国際交流を行っています。あなたも世界の人々と友達になりませんか。

〈例会〉第1木曜日 10時～12時

第3土曜日 2時～4時

〈年会費〉2,000円(中・高校生は1,000円)

姉妹都市活動室



ボランティア通訳で国際交流

1996 国際交流の集い

昨年も12月に恒例の「国際交流の集い」を開催いたしました。

午後1時から外国人を対象にしたバザーを市民会館で行い、外国人約50人が、市民の方から提供のあった約2,000点の品物から、生活用品、家電製品などのショッピングを楽しみました。



居合道の演武



特に今回は、新品の自転車が集め、抽選の結果、中国からの留学生がその幸運を射止めました。

第2部の交流会では、最初に登場した居合道の

演武で、真剣による試し切りが目の前で行われ、外国人から驚嘆の声があがりました。

続いて、元キャンプカウンセラーや「青少年活動室」の仲間、参加者が一体となり、歌やゲームを楽しみました。最後には、マジシャンの軽妙な英語を交えながらのマジックショーで盛り上がり、参加した人たちは、散会の後も話が尽きず、いつまでも名残を惜しんでいました。



交流会場で

市内西豊川町の国際協力事業団大阪国際センターには日本の先端技術等を学ぶため、開発途上国から多数の研修員が滞在されています。3月1日、公共施設等の見学を通じて、同センターの研修員と市民の皆さんが相互の交流を深めていただくため、「ふれあい交流」を実施いたしました。当日は、市民24名、研修員21名、ボランティア通訳6名など総勢54名が川端康成文学館に集合。当館の見学では、英語の本や生家の模型、ビデオを見て、川端康成や文

ふれあい交流を実施



川端康成文学館の見学

学について話がはずみました。昼食場所の竜王山荘では、周りの景色をバックに記念写真や雑談で相互交流を深めました。次の中尾酒造では、お酒の製造過程の説明を受け、工場見学の際には、研修員から驚嘆の声があがりました。最後の大阪国際センターでの交流会では、お互いの国のこと、趣味や家族のことなどについて話がはずみ、研修員と市民との合唱が飛び出すほど盛り上がり、交流の幕を閉じました。



ジュースで乾杯(昼食)



熱のこもったスピーチ

第13回 英語スピーチ大会報告

昨年11月、中学生16人、高校生7人の出場者による英語スピーチ大会を開催いたしました。

中学生は、ステイービー・ワンダーやライオネル・リッチーが参加してつくった歌“WE ARE THE WORLD”についての暗唱文を、高校生は、高齢者問題、真の幸福など幅広い分野についてしっかりとしたスピーチを披露しました。

聴きに來られた方々からも、発音や、発表態度、内容のレベルの高さに驚きの声が上がリ、今後ますます期待される大会になりました。

入賞者の皆さんは次のとおりです。

〔中学生の部〕

- 1位 村田 加奈子さん
- 2位 今川 英子さん
- 3位 芳賀 明代さん

〔高校生の部〕

- 1位 田中 美穂さん
- 2位 小村 恵さん
- 3位 國分 友紀子さん



入賞者の皆さん

'97

俳句コンテスト

今年のテーマはseedling(種苗)。毎年のことながら俳句コンテストへの意気込みは大変さかんで、全部で400を越える作品の応募がありました。

特に幼稚園・小学生の部には、新鮮で、豊かな感性をいかした詠みごたえのある作品が多かったのが印象的でした。

各部門の1位に選ばれた作品をご紹介します。(翻訳:吉村侑久代)

〔幼稚園・小学生の部〕 Gretchen Hofman

I am a seedling
Wind wispers through tender leaves
I grow to the sun
私は種子です
風が柔らかい木々を通して囁きます
私は太陽に向かって伸びていきます

〔中学生の部〕 Marnie Erpestad

See the baby mouse
Tumble under the seedlings
Beginning of new lives
赤ちゃんねずみが
苗の下で転がっているのを見てごらん
新しい生命のはじまり

〔高校生の部〕 Langdon Martin

Dew on morning dirt
A tiny seedling breaks through
Where I sat last night
土の上に朝霧
小さな芽が顔を出す
私が昨日座っていたところに

〔成人の部〕 Ardella Lagerquirt

Maple whirligigs
Spin upon the warming breeze
Twirl to our future
楓の風車が
暖かな風に乗って回る
未来に向かってくるくる回る

うちの

内海町への市民訪問団

昨年11月20日・21日、紅葉映える姉妹都市・小豆島の内海町を総勢18人の市民訪問団が訪れました。

初日は、まずオリーブ記念館において、内海町長をはじめ、内海町の皆さんの心のこもった出迎えを受け、内海町への表

敬訪問を行いました。その後、オリーブ公園や田ノ浦岬にある、小説「二十四の瞳」の舞台となった「岬の分教場」や「二十四の瞳映画村」を訪ね、宿泊先である「茨木市市民海の家」に到着。夜の懇親会では内海町の方も出席され、訪問団員となごやかなひとときを過ごしました。



岬の分教場で

翌日は、「小豆島民俗資料館」や「太陽の丘(オリーブ神殿)」、紅葉の名所「寒霞溪」を訪れました。ロープウェイからは溪谷の紅葉を、頂上からは、内海湾を背景にした雄大なパノラマを堪能した後、

内海町の名産品「そうめん」の製造工場を見学し、福田港へ向かいました。

訪問先での親切なご案内、おもてなし、すばらしい景色、幾重にも重なりあった紙テープでのお別れ、たくさんの思い出が胸に残る旅でした。

寄付

本市の国際交流事業の推進のためにと次の方から温かいご寄付をいただきました。ご厚志に心からお礼申し上げます。(11月～4月、敬称略)
〈市へ〉 社団法人 茨木カンツリー倶楽部 (900万円)

茨木市における国際交流の足あと (第26号以降の経過)

平成8年(1996年)

- 6月 元ミ市文化協会会長ペギー・スパージョンさん来茨
- 6月 馬山市長・議長並びに青年会議所関係者一行25人来茨
- 7月 茨木市体育協会会長鈴木敏正氏ミ市訪問。スポーツ交流を話し合い
- 7月 「茨木市女性訪問団」一行14人ミ市訪問。ミ市女性団体と交流
- 7月 佐野牧子さんミネソタ州日本語村へカウンセラーとして参加
- 8月 「ミネアポリス市少年サッカーチーム」一行16人来茨。
「茨木市民サッカー大会」に参加
- 8月 「上海市少年宮民族音楽団」一行18人来茨。天王・太田中学校吹奏楽部とジョイント・コンサート
- 10月 「茨木市友好訪中代表団」一行9人訪安
- 10月 市資産税課長代理市川和夫氏並びに高齢福祉課長代理今村二郎氏、海外研修のためミ市訪問
- 11月 「安慶市友好代表団」一行5人並びに「安慶市経済貿易友好視察団」一行6人来茨。
経済貿易展示会開催

平成9年(1997年)

- 4月 元ミ市文化協会会長ジャーメイン・アレント夫妻他2人、ライオンズ交流で来茨



海外研修で訪ミ



安慶市からの代表団



アレント夫妻他表敬訪問